

会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">会 議</div> ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	—
		決裁期日	平成29年6月15日
名 称	第12回未来創生委員会（平成29年度第1回）		
日 時	平成29年6月13日 午前 ・午後 10時00分～11時00分		
場 所	安平町役場追分庁舎（多目的情報会議室）		
出席者	安 平 町 （企画財政課）木林課長、岡課長補佐、木村主幹、高橋主幹 委 員 未来創生委員会委員 8名 外部有識者 北海学園大学経営学部教授 菅原浩信氏、 F P オフィス・スターサポート代表 星洋子氏		
会議概要	<p>1 開会（進行：木林企画財政課長） ◇過半数の参加により委員会が成立していることを宣言</p> <p>2 委員長挨拶 ◇本来であれば、5月31日に開催することとなっておりましたが、町内で不幸があり、本日に延期をさせていただきました。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。</p> <p>◇さて、前回会議が2月下旬に開催していましたので、3ヶ月ぶりの会議となります。平成28年1月に、瀧町長から総合計画の策定諮問を受けた当委員会については、これまで複数回にわたる協議を重ねてきたところであり、前回の会議で、皆さんから最終的な答申意見をとりまとめ、その後、私と副委員長とともに、瀧町長へ答申書を提出させていただきましたことを報告させていただきます。</p> <p>◇私ども委員の任期も間もなく終了ということになりますが、本日は、これまでに審議してきた総合計画が完成したことから、その報告などが主な案件となり、節目の委員会となりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>3 町長挨拶 ◇平成28年1月に諮問させていただきました「第2次安平町総合計画の策定」について、これまで複数回にわたり重ねられてきた委員会での熱い議論を経て、まちづくりの将来像を「育てたい 暮らしたい 帰りたい みんなで未来へ駆けるまち」として設定し、計画をまとめあげていただき、未来創生委員会から答申をいただきました。本当にありがとうございました。また、答申をいただきました第2次安平町総合計画については、先の3月定例議会に提出し、議会の承認をいただいたところでございます。本日、出席をいただいている皆様には、平成27年6月に委嘱状を交付して以来、当町の人口減少対策の指針である「安平町まち・ひと・しごと創生総合戦略」、そして、今回の「第2次安平町総合計画」と、この町の未来をまさに創生する、極めて重要となる、中長期的な計画を、この2年間で議論いただき、まとめあげていただきました。改めて、心から厚く感謝とお礼を申し上げるところでございます。</p> <p>◇さて、この4月から第2次安平町総合計画がスタートしたわけですが、そ</p>		

の答申書にもあるとおり、この総合計画は策定して終わりではなく、今後10年間においてしっかりと取り組んでいかなければならないものでありまして、人口減少社会という厳しい社会情勢の中、移住対策と絡めて戦略的に地域課題を解決していく「重点プロジェクト」の積極的な展開をはじめ、成果指標に基づいて計画の実施状況を評価・検証し、改善につなげるPDCAサイクルの構築のほか、各政策分野における委員皆さんからのご意見に対する検討など、行政だけではなく、ここに暮らす町民とともに安平町が一丸となって取組みを進めていくことが重要であると考えております。安平町のまちづくりの将来像である「育てたい 暮らしたい 帰りたい みんなで未来へ駆けるまち」の実現に向けて、しっかりと町政を進めてまいりたいと考えていますので、今後ともご協力をいただきますようお願いいたします。

◇任期終了もまもなくというところでございますが、次期委員の選任にあたっては、改めて個別にご相談、お願いをさせていただき予定としておりますので、次期委員のお願いを申し上げた際には、ご協力をお願いいたします。

4 議 事

(1) 第11回未来創生委員会で協議した答申書作成に係る附帯意見について

(説明：企画財政課 岡)

◇まずは、これまで皆さんに審議をいただきました第2次安平町総合計画については、3月に開催された定例町議会において可決され、計画が策定となりました。本当にありがとうございました。

◇さて、議事案件であります、第11回未来創生委員会で協議した答申書作成に係る附帯意見について、ご説明させていただきます。前回の会議において、第2次安平町総合計画の策定諮問に対して、答申を行うにあたり、各委員の皆様からいただいたご意見を事務局で整理し、答申書に盛り込むことをご承認をいただいております。会議のご案内とあわせて事前送付しておりますが、第11回目となる委員会の会議録抜粋版として、各委員からご発言のあった意見内容を掲載しております。そして、その意見を反映させて答申書を作成・整理させていただきます。

◇答申内容については、時間の都合上、全てを読み上げませんが、大きな1つ目の「総合計画基本構想及び基本計画の推進全般に関すること」の項目として、(1)では、人口減少社会という厳しい社会情勢の中、特に地域課題を移住対策と絡めて戦略的に解決していく「重点プロジェクト」の実施について、行政・住民の相互に推進体制を構築した上で、積極的に展開されることを希望すること。(2)では、PDCAサイクルによる進捗管理を行っていくにあたり、早期に体制と仕組みづくりを確立していただきたいこと。また、前期基本計画で設定した成果指標には、各基本施策で設定された「施策の方向性」との対応関係が不明な項目があることから、中期基本計画の策定において見直しを検討いただきたいこと。などを全般的な部分で答申としております。また、大きな2つ目の、「重点プロジェクト及び各政策分野における個別の意見」については全部で14項目にわたる意見を付して、答申書としております。

◇この答申書については、先ほど、委員長からのお話しもおあり、平成29年2月23日付け答申として、早来庁舎において委員長・副委員長のおふたりから、瀧町長へ直接答申書を手渡していただきましたことをご報告させていただきます。

(2) 第2次安平町総合計画基本構想及び前期基本計画の策定完了について

◇引き続き、第2次安平町総合計画基本構想及び前期基本計画の策定完了、そして、今後の計画の進め方について、説明させていただきます。皆さんには、事前配布資料として、策定完了となりました、基本構想と前期基本計画のほか、ダイジェスト版と長期財政推計を配布させていただいておりますが、3月10日開会の定例町議会において、第2次安平町総合計画基本構想及び前期基本計画について、承認をいただいております。なお、策定後については、町内の各世帯に、計画の「ダイジェスト版」を配布させていただきました。

◇計画のほうは策定完了となりましたが、これまでも、委員会の議論の中で、計画を作って終わりではなく、しっかりと実行することが大事であるというご指摘をいただいております。また、前回会議の中でも、計画に「推進する」「検討する」と記載したまま、何もしてない自治体も多いといったご意見もあったことから、本日配布しております「総合計画・総合戦略の推進に向けて」というA4版一枚ものの資料でご説明したいと思います。

◇資料の上段にも記載しておりますが、今回、総合計画が承認され、今後10年間のまちづくりの将来像・目標・施策が決まったことから、それらを実現するための事務事業が求められるわけでありまして、行政側では、具体的な事業の実施に向け進めていくところでございまして、その体制や進め方について、この資料で示しております。まず、資料の左側については、計画策定時の体制であり、計画の進行管理や検証の観点から、必要に応じて開催を行っていくこととしています。計画の推進として、具体的な事業の実施に向けては右側のほうになりますが、大きく分けて2つの観点から進めていくこととしています。1つは、具体的事業例の事業化についてです。これまで、総合計画や総合戦略を策定するにあたり、約2年間にわたり多くの議論を行い、総合計画では『主な取り組み』として、総合戦略では『具体的な事業例』として、今後着手すべき事業や取り組みを掲げています。

◇前期基本計画はH29-H30の2ヵ年、そして、総合戦略は折り返しを迎えるところでもありますので、短期的には、これら計画に掲げている取り組みや事業に取り組んでいかなければなりません。そのため、まずは、将来像・目標・施策の達成に向けて、企画Gと担当課で、事業の目的や事業イメージを共有した上で、各担当課が中心となり事業の企画立案を進めていくこととしており、例年取りまとめている実施計画事業としての立案を目指し、既に協議を開始しております。

◇もう一つは、右側の下段になりますが、総合計画 基本構想に掲げている「重点プロジェクト」の推進についてでございます。人口減少対策、移住対策と絡めて戦略的に地域課題を解決していく「重点プロジェクト」については、今後10年間で重点的・横断的に取り組んでいくものでありますが、早い時期から具体的な協議を行っていく必要があると認識しており、重点プロジェクト推進会議を立上げ、協議を進めていくこととしています。以上、総合計画の策定報告と今後の進め方について、説明をさせていただきました。

◆質問・意見等について

発言者	内容
委員	総合計画の推進にあたり、評価はどうするのかを確認したい。具体的に言えば、資料の行政内組織で「計画の進行管理、評価」と記載されているが、未来創生委員会のところには「計画の進行

	管理」で止まっている。委員会には「評価」は期待されていないのか、あるいは単なる記載漏れなのかを確認したい。
企画財政課	記載漏れであり、未来創生委員会でも評価をしていただくこととなる。 すでに総合戦略については、28年度に係るKPI実績を事務レベルで取りまとめているが、200以上もある事務事業があり、事務事業の評価なのか、施策としての評価なのかなど、どのように委員の皆さんに評価していただくかが課題であり、検討中である。
委員	計画を作って終わり、事業をやりっぱなしというだけにはならないよう評価体制を整えていただければと思う。

発言者	内 容
外部有識者	ダイジェスト版を町民に配布して、その後の町民の反応は。どのように配布したのか。
企画財政課	町民の反応は特に無いというのが実情。それが内容に納得してのことなのか、行政には期待していないという表れなのか、そこはわからない。配布は、広報紙面内に紹介記事を掲載して、ダイジェスト版も配布するという方法で行った。議会では、これまでの計画にはないくらい町民参画機会を設けて作成したことにお褒めの言葉もいただいているところ。
委員	私の周りでは、すごくがんばって作ったんだね、という声は聞こえている。反面、難しいことがいっぱい書かれているね、という声も。
企画財政課	がんばったんだね、という声が評価されている声であるかは微妙だが、行政の自己満足にならないようには考えている。 他自治体ではデザイン業者も入れるなどして、市民に理解してもらえるように工夫をしているところもある。
委員	そういった面も含めて評価していくよう、評価のプロセスを大切にしましょう。
委員	町民の皆さんに知っていただく、理解していただくというツールについては、あびらチャンネルは活用すべきだと思う。冊子では読みにくくても、映像であれば理解しやすいはずなので、今後検討して欲しい。

◆ 2年間の委員会を振り返っての感想等

発言者	内 容
委員	このまちに移り住んできて、何も分からずスタートし、策定作業を通じてまちのことを知ることができた。関わったことに感謝したい。反面、この計画書を出した責任も重く感じている。
委員	自分の育ったまちを良くしたいという思いで参加した。思った以上に緻密に進められたという印象。勉強になった。10年後にもっと自分が成長して、この計画書を読み直したときに、また違った思いが生まれてくるのだと思う。ありがとうございました。
委員	これから10年の指針ができてよかった。しかしまだ、こじんまりとした計画という印象はありのと、身近な事業と計画の施策等とがもう少し分かりやすく結びつく表現の仕方を工夫する余地があるように思う。町民の満足度が高まる施策がどこにかかっているかを表現しないと一般の人は読んでくれない。町民の方に分かりやすく伝えることが大事である

委員	参加する中で様々な分析を知り、勉強できた。今年から商工会青年部長になったので、これからも行政と連携もしつつ、意見をぶつけ合いつつ、がんばりたい。
委員	誘致企業会の代表として参加したが、この計画を誘致企業会にも持ち帰って、なにができるかということ会員とともに考えていきたい。
委員	私もいろいろなまちを見てきているが、安平町は可能性のあるまちだと感じている。この計画が目指す姿が実現するよう願う。
外部有識者	ライフプランの大切さを広めていることから、この会議に招かれた。子育て・教育の課題は、全国どこでも大きな課題。この計画では子育て・教育を大きく取り上げており、これらが実現するよう願うばかりである。
外部有識者	外部有識者ということで、よそ者視点でいくつか言わせていただくが、まちづくり会議の議論において、目的と手段が逆になってしまったことが、計画内容に響いたと感じている。また、重点プロジェクトに対する議論が弱く、やや浮いた存在になっている。 また、現在は解消されたが、3か月経っても会議録がインターネットに公開されていないことがあるなど、情報共有を今後もっと意識する必要がある。 それから、安平町の人口減少の幅が大きくなったことやJRの問題という形で顕在化しているように、皆さんには危機感を持ってもらいたい。このまちが「茹でがえる」にならないよう、今ならまだ間に合うので、自分たちがという当事者意識を持ってもらいたいと願う。
副委員長	参加する度に難しい会議で自分の視野の狭さを実感してきた。いろいろな立場の方から色々な意見を聞けたことは良かった。今後の生活の中に役立てていきたい。次期委員会では、一般の町民でも参加しやすい雰囲気づくりに期待したい。ありがとうございました。
委員長	外部有識者の言葉にもあったが、商工会でも10年ほど前からこの地域に危機感を持っている。公共交通や創業支援などの課題があるが、商工会を挙げて考えていきたいと思っている。観光協会についても、回遊交流ステーション形成事業を軸にがんばっていきたいと考えている。 今後もまちづくりの推進に向けて、町から依頼があったときはよろしくお願ひしたい。

◆おわりに（企画財政課より）

今期の任期がまもなく終了するが、本日欠席された委員からも皆さんによろしくというお言葉を預かっている。次期も依頼させていただいたときには、よろしくお願ひしたい。2年間ありがとうございました。

以上、終了。（11：00）